

# 静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

①対象者	2012年1月1日～2020年3月31日の期間にStage I/II 舌癌と診断され、手術加療が行われた患者さんのうち、手術で切除された舌原発巣の浸潤の深さ（Depth of invasion (DOI)）が病理学的に3mm以上10mm未満であった患者さん						
②研究課題名	Stage I/II 舌癌における潜在的頸部リンパ節転移のハイリスク病理組織学的因素に関する研究						
③実施予定期間	倫理審査委員会承認日～2027年3月						
④実施機関	静岡県立静岡がんセンターを含む全国の主要ながん専門施設						
⑤研究代表者	氏名	折館 伸彦	所属	横浜市立大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科			
⑥当院の研究代表者	氏名	向川 卓志	所属	静岡県立静岡がんセンター 頭頸部外科			
⑦使用する検体・データ	研究に用いる試料：手術で切除された舌原発巣の病理スライド 研究に用いる情報：手術時の年齢、性別、切除された舌原発巣、頸部郭清組織の病理組織学的な特徴（舌腫瘍の浸潤の深さ：DOIなど）						
⑧他機関への提供	有（日本 横浜市立大学・国立がん研究センター 病理標本・診療情報）無						
⑨提供先の責任者	氏名	折館 伸彦	所属	横浜市立大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科			
	氏名	坂下信悟	所属	国立がん研究センター 先端医療開発センター			
⑩目的	Stage I/II 舌癌における頸部リンパ節転移の予測因子となる病理組織学的特徴を同定することを目的としています。また、デジタル化した病理スライド標本と病理組織学的所見、患者情報を用いたAI（人工知能）による潜在的頸部リンパ節転移予測モデルの構築も目的とします。						
⑪方法	既存の手術検体を用いて原発病巣の病理組織学的所見と、リンパ節転移の有無を解析し、Stage I/II 舌癌における頸部リンパ節転移のハイリスク因子を調査します。手術時の病理検体を用いるため新たな試料採取はなく、身体的、精神的、経済的な不利益は生じません。診療情報は匿名化されたうえで保管するため個人情報は保護されます。						
⑫倫理審査	倫理審査委員会承認日	2025年10月27日					
⑬公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。						
⑭プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は使用しません。						
⑮知的財産権	知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターに帰属しません。						
⑯利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。						
⑰資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。						
⑱問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222（内線3379）			
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。						

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。